

不登校という概念 ～自身の経験と向き合って～

C. U. <国際②>

1. はじめに

日本における不登校は年々増えている。私自身、学校に行けない時期が続いてしまい、学校を休むのは良くないことで、私はダメなんだと責めてしまうことがあった。それは、不登校が社会的に悪く思われる風潮があるからだと感じた。そこで、私の探究を通して、不登校という概念に少しでもポジティブな印象を持ってもらいたいと思い、不登校の言い換えの言葉を生み出した。また、学校に行くことだけが私たち小中高生にとっての選択肢なのか、他に選択できる進路や、居場所はないのか等を調査することで、より広い考えを知って欲しい。

2. 不登校の現状

2.1 不登校とは

1950年代末から報告された、学校嫌いを理由に年間30日以上欠席した児童生徒を「登校拒否」とよんでいた。1990年代からその捉え方を変えるべく、「年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒」のうち「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景」により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者。ただし、病気や経済的理由によるものを除くものを不登校と呼ぶ。と文部科学省で定義されている。

2.2 日本の不登校の傾向

以下、文部科学省(2022)「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」74、104ページより引用の図から、小中学生における不登校は増加傾向にある。特にここ3・4年での急増にも着目したい。これは新型コロナウイルスの影響によって、文部科学省が『休んだ生徒を欠席扱いしない』方針を発表した令和二年度に、コロナ感染回避のための小中学校欠席者が2万人もいた。その2万人は不登校と考えられるので、実際の不登校の児童生徒数は21万人で、図1の数字より多い。また、令和二年度の高校の不登校数は4万3051人で、前年度の5万100人より減っているように見えるが、実際はコロナ感染回避の不登校と考えられる欠席者9382人がいるので、併せて、5万2433人となり、増加していることになる。

<参考2> 不登校児童生徒数の推移のグラフ

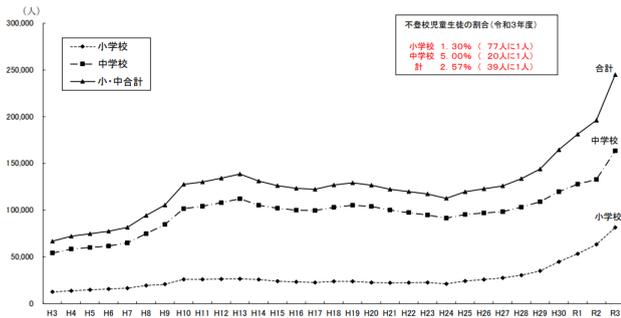


図1 不登校児童生徒数の推移のグラフ[1]

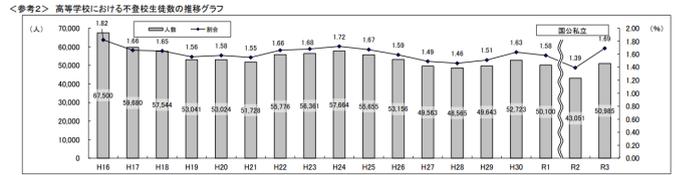


図2 高等学校における不登校生徒数の推移グラフ[1]

2.4 自身について

私が不登校に陥った原因は決して大きなものではなく、小さなストレスや苦しみが積み重なったことだった。休むことで一旦は気が楽になることもあったが、なかなか学校に復帰することのできない自分に対し、苛立ちと「もう、どうにでもなってしまえ」という感情が渦巻いた。そして、たまに学校に行くと、久々に来た自分をどう思うのかと、周りの目が必要以上に気になったり、友達の努力する姿を見て、休んでいる私なんてだめだと自分を責めてしまい、再び学校に生きづらくなってしまふ、といったことの繰り返しだった。

3. 仮説と調査方法

3.1 仮説

不登校は悪いことでも、甘えでもないのではないだろうか。不登校、という言葉が不登校の概念を悪くしているのではないかと仮説を立てる。

3.2 調査内容1

つくばにあるオルタナティブスペース、むすびつくばを訪ねて、その施設に通う生徒と携わっている方にお話を伺う。

3.3 調査内容2

つくばで開催される『不登校多様な学び、つながる”縁”日』に参加して、フリースクール等に通う生徒と関わったり、各フリースクールの先生方にお話を伺う。

4. インタビューの結果

4.1 むすびつくばに訪問して

むすびつくば副監督責任者の松井先生にお話をうかがった。

「生徒とは、まず一緒にお話したり遊んだりして、信頼関係をつくること。そして、生徒が安心でき、落ち着けるような教室づくりをして、生徒のエネルギーを溜めてあげる。生徒のエネルギーが溜まったとわかるときには、生徒自身のやりたいことを自分自身で行うようになる。その変化を見逃さずに、そっと背中を押してあげること。ただし、100人いれば100通りの支援の仕方があると思うので、その生徒一人ひとりをよく見るようにしている。でもその後は、この施設を基本的に生徒が主体となって様々な活動をするので、そのことでより生徒自身が成長することができる」と答えてくださった。また、「生徒たちが遊んだり、勉強をしたりする時間だけでなく、先生達の手を借りずに、自主的に話し合いを行なって、施設内の掲示物を変えたり、季節ごとに模様替えを

したり、みんなで遊ぶを決めたり、する時間が定期的にある。」

とのことで、生徒達が自主的に物事に取り組むことで、学校とは違う学びを深めることができるのだとわかった。

4.2 不登校多様な学び、つながる”縁”日に参加して

フリースクール等に通っている生徒たちが、屋台の店員さんとしていきいきと働いていた。それだけでも感心したのだが、その屋台を出している施設の方にお話を聞くと、

「この屋台は、フリースクール側が、店種を選択したのではなく、生徒たち自身が、企画してみんなで話し合い屋台のコンセプトや外装、衣装までもきめている。」と答えてくださった。私達高校生が、文化祭で話し合っ

5. 考察

以上の調査結果から、不登校は怠けでもなければ甘えでもない。学校にいけないこと=悪いこと、ではないと考察する。様々な理由から学校に行けなくて、フリースクール等に通っている生徒たちは、その施設で甘えるどころか、自らやりたいことをやり、他の子たちと様々な活動を行い、協力して企画を行うこともできる。学校では得られない学びをたくさん得て、不登校であったことを引きずってはいないように、むしろ学校に通うよりも、自立して道を歩んでいるように、私には見えた。このことから、もし学校に行くのが辛くなってしまふことがあっても、ただ自分を責めることはもったいないことである。学校に行けなくても、今をいきいきと生きている人達はいるので、専門家や身近にいる信頼できる人、誰か一人にでも相談してみることが大切。選択肢は学校に行く、そのただ一つだけではないので、自分自身がどうしたいかという気持ちに素直でいることが大切だ。そのことで、自分の新たな可能性を広げることができるかもしれない。

6. おわりに

3.1 結論

この探究を通して私自身にも変化があった。それは、自分が不登校であることを責めて落ち込むことが、間違いなく減ったということ。学校に行けなくてもいきいきと活動している生徒たちを見て、とても勇気をもらったし、私も自分自身を認めた上で、みんなのように頑張りたいと思った。そして、学校に行けなくても他にも選択肢はあって、それぞれその人に合った輝ける場所があるということがわかった。

また、この探究で「不登校」の言い換えの言葉を生み出した。それは、『蝶の蛹(さなぎ)』である。なぜかという、不登校には、そうなる理由がみんな同じではなく、不登校の人の数だけ、様々ある。その期間様々な事に悩み、葛藤することは、悪い事ではなく、自分が成長して、いきいきと生活するための準備期間であると私は考える。一見閉じこもっているように見えても、周りには、元気に新たな姿になって、外に出てくるのを待っている人がいるし、今にも蛹から飛び出ようともがいている自分がある。まさにその過程が、蛹(さなぎ)が蝶になるまでの期間のように感じた。また蝶は、不恰好に見える蛹でいる期間よりも美しい蝶として生きている期間のほうが長いので、蛹でいる期間よりも、これからの人

生に対しポジティブな意味を込めて『蝶の蛹(さなぎ)』と私は言い換えたい。この探究を知った、誰かの心に残る言葉になれば、私が探究をした意味はあったと思う。

3.2 今後の課題

不登校という概念をブラッシュアップすることに、フォーカスした探究だったので、今後は不登校支援についても調査していきたい。フリースクールは各都道府県にいくつあるのか、もし身の回りに不登校の人がいたら自分にできることはなにか、不登校の人が相談しやすい環境にするためには何が必要なのか、様々な理由がある不登校に対しての支援方法は何か、など。他のフリースクールにも訪問したり、不登校支援をしている方にお話を伺ったりして、より不登校支援に対して、知識を深め自分にできることは何か考えたい。

また、自身の経験も交えているために、探究の結果が、自分の思惑の方に偏ってしまった可能性があるため、より不登校に対して色々な知識を持つことで、再び仮説を立て検証してみたいと思う。

謝辞

探究を勧めるにあたり、むすびつくば副監督責任者の松井由佳先生には大変お世話になりました。お忙しい中、時間を取ってインタビューにお答えいただきまして、誠にありがとうございます。松井先生のおかげで、とても有意義な探究になりましたし、私自身も、松井先生のお言葉に沢山救われました。本当にありがとうございました。

参考文献

- [1]文部科学省(2022)「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等の生徒指導上の初課外に関する調査結果について」74, 104ページ
(https://www.mext.go.jp/content/20221021-mxt_jidou02-100002753_1.pdf) 2022年11月26日アクセス。
- [2]キズナ家学(n. d.)「不登校の7つのタイプ」
(<https://tokyo-vagaku.jp/futoukou/type/>) 2022年11月26日アクセス。
- [3]むすびつくば(n. d.)「不登校児童生徒のもう一つの学びと育ちの場」(<https://www.musubitsukuba.com/>) 2022年11月26日アクセス。
- [4]All about (2020)「オルタナティブスクールとは」(<https://allabout.co.jp/gm/gc/465529/>) 2022年11月26日アクセス。
- [5]杉浦孝宣・NPO法人高卒支援会(2021)『不登校・ひきこもり急増 コロナショックの支援現場から』光文社新書。

海外人気の高い邦楽と音階の関係 ～きゃりーぱみゅぱみゅと坂本九に着目して～

C.0. <国際②>

1. はじめに

皆さんは、海外の曲を耳にすることがよくあると思う。様々な種類の店舗などで流れる洋楽を良いと思ったことも何度もあるのではないだろうか。

私自身も洋楽を聞くことがとても好きだったため、よく聞いていた。その中で私には一つの疑問が生まれていた。それは、私は自分の聞いている洋楽の歌詞の意味などを理解しているわけではないのにも関わらず、その洋楽を良いと感じるのはなぜなのか、ということだ。

またそこから、海外人気の高い邦楽も海外の人にとって同じ感覚を与えるのではないかと考え、それらの曲に存在する共通点について調査を行った。この研究を進めていけば、日本の曲が評価されている海外の国や地域で何らかの共通点を発見することができるのではないかと。また、人気のない地域ではどのような共通点が見られるのかを調査することも、その地域の文化を理解する上で役立つのではないかと考えた。

2. 調査

家族に対して、自身の研究内容についてなにか気がついたことはないかと質問してみたところ母が、海外で人気のきゃりーぱみゅぱみゅの曲に普通とは異なった音階が使われているらしいと聞いたことがあるよ、と言っていた。それが自分にとって非常に興味深かったため、その音階に着目して研究することとした。

調査を行ったところ、海外人気の高い邦楽アーティストとしては、きゃりーぱみゅぱみゅや坂本九、Perfume、宇多田ヒカルなど、いくつかのアーティストが挙げられたものの、そのうちから最も人気の高いアーティストと、最も世界の広い範囲で人気を博した邦楽アーティストということで、きゃりーぱみゅぱみゅ（以下きゃりー）と、坂本九に着目して調査を行った。

2.1坂本九、きゃりーぱみゅぱみゅの海外人気

・坂本九

1969年にリリースされた坂本九の楽曲である上を向いて歩こうは、米国を中心として海外で記録的な大ヒットを記録した。この楽曲は世界で最も権威ある米国ビルボードのチャートに日本人史上唯一1位でランクインし、更にシングルで100万枚以上を売り上げ、世界的な権威あるシングルに送られる賞であるゴールデンレコード（現在のダイヤモンドレコードに相当）を受賞するなど、高い海外人気を伺うことができる。

・きゃりーぱみゅぱみゅ

もともとはファッションモデルだったきゃりーが、プロデューサー中田ヤスタカのもとで歌手として発売した、ファーストアルバム「ぱみゅぱみゅレボリューション」

が発売されると、発表されたオリコンデイリーチャートでも一位を獲得、iTunes store®の総合チャートでも一位、世界のiTunes store®でもアメリカ、フランス、ベルギーのエレクトロニックチャートで一位を獲得するなど、「きゃりーぱみゅぱみゅ」は世界で話題沸騰となった。

これらはすべて日本人ではきゃりーのみが保持する記録であり、きゃりーのアルバムは日本人アーティストとして世界で最も広い範囲で発売され、高い人気を博した。アリアナ・グランデやマライア・キャリー、ステイビーワンダーなどからも高い評価を受けていて、彼女の楽曲はユニバーサルスタジオの人気映画、SINGの中にもメイン楽曲の一つとして用いられた。

これらのことから、この二人のアーティストが海外において高い評価を受けているということは間違いのないであろうと結論づけた。

3. 仮説と調査方法

3.1 調査の方法

きゃりー、坂本九両氏の海外人気は、日本固有の音階を用いたためである。

3.2 実験や調査内容

仮説に基づいて、きゃりー、坂本九に共通する音階について、論文や音楽書籍などに元づいて調査を行ってみることにした。

4. 整理・分析

きゃりー、坂本九に共通している音階としては、ヨナ抜き音階という音階が挙げられた。

ヨナ抜き音階とは？

「四七抜き音階」とも表記し、ヨナ抜き音階を西洋音楽の長音階に当てはめたとき主音（ド）から4つ目のファと、7つ目のシがない音階（ドレミソラ）のこと。雅楽の呂旋法がこれに当たり、西洋音楽関係者が日本音階の特徴として名付けた物である。なお、ピアノなどにおける黒鍵部分の五音にも相当する。同じように、ニロ抜き音階は「二六抜き音階」とも表記し、ニロ抜き短音階を西洋音楽の短音階に当てはめたときに主音（ラ）から2つ目のシと六つ目のファがない音階のことである。俗楽の陽旋法がこれに当たる。

これらの共通点から、この二人のアーティストが海外人気を博すことができた一因は、四七抜き音階を用いていたからだと考えることができる。

実際にヨナ抜き音階には一般の音階と比べて変化を感じるという根拠としては中間発表の際、50人以上に対して実際に聞こえ方についての口頭質問を行ってみた

ころ、全員が一般的な音階とは異なって聞こえると回答した事が挙げられる。

5. 考察

ここまで研究を勧めてきた上で、海外人気の高さについての証拠を発見、提示したことに加え、それらに見られる共通点として、ヨナ抜き音階が用いられていることを上げた。

そのうえで、以下にきやりーばみゆばみゆの楽曲である「つけまつける」及び、坂本九の楽曲である「上を向いて歩こう」のメロディーを実際に譜面に起こしたものを作成し、彼らの海外人気の高い楽曲には本当にヨナ抜き音階が用いられているのかどうかについて、検証を行った。この場合のヨナ抜き音階とは、あくまで4番目、7番目の音が音階として用いられていないという意味であり、ファ、シが用いられていない音階という意味ではない。

(以下、①きやりー、②坂本九のそれぞれの楽譜)

①きやりーばみゆばみゆ 「つけまつける」

①きやりーばみゆばみゆ 「つけまつける」

②坂本九 「上を向いて歩こう」

②坂本九 「上を向いて歩こう」

検証の結果

結果①

きやりーばみゆばみゆ「つけまつける」の場合きやりーの楽曲では、4,7番目に当たる音の使用については所々に発見することができたものの、実際の音階に当たる部分での使用については見られず、裏拍部分でのみの使用であったため、問題はないものとして扱うこととした(裏拍としての使用ということは、音階についての影響はなく、問題があったということにはならない)。

また、この楽曲においては、通常とは異なった音から音階が始まるため前述したとおり通常とは異なったパターンのヨナ抜き音階となっている。

結果②

坂本九「上を向いて歩こう」の場合

「上を向いて歩こう」では、冒頭で記したように、西洋音階の4,7番目音階は全く用いられていなかった。この曲の譜面全体で一度もそれらの音が用いられていなかったため、こちらも自説を裏付けるような結果となったと言える。

6. おわりに

3.1 結論

今回行った調査及び実験から、きやりーばみゆばみゆ及び坂本九には高い海外人気があること、彼らの楽曲に共通して用いられている音階として見られるのがヨナ抜き音階であることがわかった。これらの結果より、私はきやりー、坂本九が海外で高い人気を得ることができたことの一員としては、ヨナ抜き音階を用いていたことがあげられるのではないかと結論づけた。

3.2 今後の課題

今後の課題として、真っ先に挙げられることは、検証したデータの量をもっと大きくしていくことである。

今回は時間などの都合上、二名しか検証対象とすることはできなかったものの、日本人で海外に進出したアーティストは他にも数多くいる。またその中には、海外進出したもののあまり人気を得ることができなかったアーティストもいる。彼らときやりーらの間にある相違点とは一体何であるのか、という興味深い事象について今後は研究してみたい。

加えて、海外で人気を得たアーティストたちが世界のどのような地域で人気なのか、ということについても検証してみたいと考えている。

参考文献

- [1]日本の音楽～受け継がれる和の音階
<https://www.guidoor.jp/media/japanese-pentatonic-scale-songs/> 2022年7月6日アクセス
- [2]きやりーばみゆばみゆが歌の世界で成功したワケ
<https://jsai.ji.com/?p=1516> 2022年7月6日アクセス
- [3]きやりーばみゆばみゆと「耳の中世化」
<http://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/02/KoichiroTanaka.pdf> 2022年7月6日アクセス
- [4]楽典～理論と実習～
- [5]きやりーばみゆばみゆの人気曲ランキング
<https://www.joysound.com/web/search/artist/216587/ranking> 2023年2月27日アクセス
- [6]九ちゃんのスキヤキ・ソング
<https://courrier.jp/news/archives/80151/> 2023年2月27日アクセス

What do I look like? ～異なることと知らないこと～

K. O. <国際②>

1. はじめに

自分が小学生の頃に受けた差別が印象に残っていて、その時から差別に対し関心を覚えた。差別が見た目による物だけではなく、歴史的な民族の背景や教育、環境に大きく影響されることを証明し、自分と違うという人に理解を示すきっかけを作るため。

2. 仮説と調査方法

2.1 仮説

差別には見た目以外の要因が多くあると考えられる。日本で外国の方に英語で道を尋ねられたり話しかけられたりすることがとても多く、反対に海外で日本の方に日本語で道を尋ねられたり話しかけられたりすることがとても多く、このことから、日本人は私のことを日本人だと認識し、海外の方のことを英語圏の人と認識すると考えられる。日本人は私を日本人と認識しているのに、私が日本で外国人として差別を受けたという事実には矛盾が生じる。なぜなら日本人に見える私は他の生徒とも同じ人種のはずなため、外国人であることを差別されているため。差別は見た目ではなく、自分たちと異なっていると言う事実が重要であると考えられる。

2.2 実験や調査内容 1

日本人にアンケートをとる。おおまかな質問項目は、初対面の人を外国人やハーフであると認識する判断基準について、海外への関心や理解について、回答者についてなど。

3. 整理・分析

どちらも見た目の割合が最も大きい。名前、顔の割合も大きく、言語の割合も大きい。このことから個別で見るとこれらの項目を選んだ人は海外への移住経験や外国籍の友人がないと回答した人の割合が大きい。人の内面的な部分に関連する外国の文化の理解と回答した人の80%が海外の移住経験があり外国籍の友人がいると回答した。海外をみじかに感じている人は見た目では判断する割合が低い。

4. 考察

一つ目に、個別で見るとこれらの項目を選んだ人は海外への移住経験や外国籍の友人がないと回答した人の割合が大きい。二つ目に海外を身近に感じている人は見た目では判断する割合が低い。これらのことから、異なっていることではなく未知のものであるということが差別の要因である可能性があることがわかった。

5. おわりに (結び、まとめetc)

3.1 結論

差別だけではなくいじめも異なることが原因ではなく未知であることが原因なのではないだろうか。差別とは異

なることが原因で少数派を輪から除外することだと思っていたが、差別とは少数派が未知の存在であることに不快感を覚え、輪から除外することであることがわかった。差別をなくすには異なることを認めることよりも、幼少期から自分と未知なる人間との関係性を築き、知らないことに慣れるということが大事である。

3.2 今後の課題

差別といじめの相違点についてや、差別の要因と解決策を模索していくことはじめの解決策を編み出すことにも繋がる可能性があるということ、異なる人種に対して差別する要素と同じ人種同士がいじめを行うときの要素の違いなどを調べる必要がある。

参考文献

[1] ゴーゴームーブ「第一印象は何秒で決まる？心理学メラビアン法の法則から学ぶ好印象の秘訣とは」

<<https://yukashikisekai.com/?p=131806>> 2022年11月30日アクセス

[2] ライブドアニュース「外国人はなぜ馴染めぬと感じるのか 自分と違う人を排除する傾向？」

<<https://news.livedoor.com/article/detail/14594360/>> 2022年11月30日アクセス

[3] 社会的排除と学校

<<http://www.edu-kana.com/kenkyu/news/no63.htm>> 2022年11月30日アクセス

[4] 松尾知明「日本における多文化教育の構築」

<https://www.jstage.jst.go.jp/article/socialstudies/2012/116/2012_5/pdf/-char/ja> 2022年11月30日アクセス

[5] NHK【海外にルーツの子供たち「いじめられる理由を教えてください」/外国人”依存”ニッポン共生社会の課題や問題を探る】

<<https://www3.nhk.or.jp/news/special/izon/20190307jime.html>> 2022年11月30日アクセス

[6] 劉麗鳳(2018)「海外にルーツをもつ子供のいじめ経験と教師の指導方法への示唆—中国帰国者三世の事例にもとづいて—」

<https://www.jstage.jst.go.jp/article/nihondaigakuyouikugakkai/54/0/54_103/_pdf/-char/en> 2022年11月30日アクセス

憲法第9条改正 ～高校生の考えと世論を比べて～

R. K. <国際②>

1. はじめに

各国勢選挙においてはそれぞれの政党がマニフェストを提示している。その中で、各政党が大きな論点として提示しているのが「憲法改正」である。そして、現代社会の重要な問題の1つに憲法第9条改正がある。現在、国会や世間ではこれに関する様々な議論が行われている。この調査では、憲法第9条に対する高校生の考えと世論の違いから高校生の考えの特徴を明らかにする。

2. 憲法第9条改正の現状

2.1 憲法第9条と政府見解のズレ

まず、憲法第9条は「戦争放棄、戦力の不保持、交戦権の否定」を規定しており、戦力を持たないとしている。しかし、政府は「我が国を防衛するための必要最小限度の実力組織としての自衛隊は憲法に違反するものではない」という見解を示しており、これが憲法第9条のズレとなっている[3]。

2.2 憲法第9条改正に関わる法律の現状

1992年6月にPKO協力が公布され、2015年の一部改正により、駆け付け警護の際に任務遂行のための武器使用が可能になり、南スーダンで武力による協力をしている[6]。そして、平和安全法制関連2法が2016年3月29日に施行され、集団的自衛権の許可、自衛隊の活動範囲や使用できる武器の拡大、有事の際自衛隊を派遣するまでの国会議論の時間の短縮、在外邦人救出や米艦防護が可能になり、武器使用基準の緩和が決まった[11]。

2.3 法改正と自衛隊法

平和安全法制関連法の施行により、自衛隊法第3条が一部改正され、それに伴って自衛隊法第76条も一部改正された。改正前の自衛隊法第76条は、「我が国に対する外部からの武力攻撃（以下「武力攻撃」という。）が発生した事態又は武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態に際して、我が国を防衛するため必要があると認める場合には、自衛隊の全部又は一部の出動を命ずることができる。この場合においては、武力攻撃事態等における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律（平成十五年法律第七十九号）第九条の定めるところにより、国会の承認を得なければならない。」と規定していた[6]。

しかし、2016年の改正で、「内閣総理大臣は、次に掲げる事態に際して、我が国を防衛するために必要があると認める場合には、自衛隊の全部又は一部の出動を命ずることができる。この場合においては、武力攻撃事態等及び存在立危機事態における我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全の確保に関する法律（平成十五年法律第七十九号）第九条の定めるところにより、国会の承認を得なければならない。一我が国に対する外部からの武力攻撃が発生した事態又は我が国に対する外部からの武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態 二我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある事態」

と規定している[2]。

変更点は下線で示した部分で、この変更から政府が憲法第9条改正に向けて、武力を行使するシチュエーションを明確にしていると言えるだろう。

このことから、2.1で述べたような要因以外にも、法律の面でも要因があるといえる。

2.4 憲法第9条改正のメリット・デメリット

憲法第9条を変えるメリットは、2.1で述べたような憲法の内容のズレを無くすことができることであり、デメリットは、自衛隊法第76条で自国の危険が明白であるときにのみ攻撃可能と規定されているものが、制約の無い集団的自衛権の行使や他国への武力行使が可能となることでさらに平和主義が守られなくなってしまうことである。

3. 仮説と調査方法

3.1 仮説

2.4で述べたような憲法第9条改正のメリット・デメリットをまとめた結果を受けてメリットを取るか、デメリットを取るかというところで、高校生の憲法第9条改正についての考えは世論と比べて特徴があるのではないだろうか、という仮説を立てた。

3.2 調査概要及び調査方法

インターネットを用いて高校生の憲法第9条や憲法改正についての考えを調査し、世論の憲法第9条の改正に対する考えと比べ、高校生の意見の特徴を考察する。

4. 高校生の考えと世論の違い

4.1 高校生の考えを調べる理由

本研究では高校生の考えと世論を調査したが、理由は、①成人年齢が18歳に引き下げられたことや、18歳は選挙での投票が可能であることから小中学生と比べてよりよい社会の状況に応じた考えを持っていると考えられるため、②これからの未来を背負っていく今の高校生の意見を調べることがよりよい社会を作っていく際に有効であると考えたためである。

4.2 高校生の考え

日本財団(2019)『18歳意識調査「第13回-憲法-」詳細版』[8]より、高校生の考えを集計した。

まず、憲法を身近に感じるかという質問に対し、「身近である」と感じている人が39.4%、「身近ではない」と感じている人60.6%で、憲法を身近に感じていない人の割合のほうが多かった。

次に、平和主義は今の社会で機能しているかという質問に対し、「今の社会で機能している」と答えた人が55.0%、「今の社会で機能していない」と答えた人が19.9%、「わからない」と答えた人が25.1%で、平和主義は今の社会で機能していると答えた人が多かった。

また、憲法改正に関心があるかという質問に対し、「関心がある」と答えた人が59.8%、「関心がない」と答えた人が40.2%で、憲法改正に関心がある人が多かった。

そして、「憲法は今の日本社会に合っているか」とい

う質問に対し、「合っている」、「概ね合っている」と答えた人の合計が53.9%、「合っていない面が多い」、「合っていない」と答えた人が22.8%、「わからない」と答えた人が23.3%で、憲法は現代に合っていると考えている人が多かった。

4.3 世論

新聞社等が行ったアンケート調査をまとめると、次のようになった。

①読売新聞社(2022)[9]によると、「戦争放棄、戦力の不保持、交戦権の否定」を規定している第9条2項の改正の必要があると答えた人は50%、必要性はないと答えた人は47%であった。

②朝日新聞社(2022)[1]によると、憲法9条について「変えるほうがよい」と答えた人が33%、「変えないほうがよい」と答えた人が59%であった。

③共同通信社(2022)[4]によると、第9条の改正の必要性があると考えている人は50%、第9条の改正の必要性はないと考えている人は48%であった。

④NHK(2022)[10]によると、第9条を改正する必要があると答えた人は31%、必要はないと答えた人は30%、どちらとも言えないと答えた人は34%であった。

5. 考察

以上より、高校生の考えをまとめると、

- 1) 憲法をあまり身近に感じていない
- 2) 憲法改正について高い関心を持っている
- 3) 平和主義は機能していると考えている人のほうが多い
- 4) 憲法は現代に合っていると考えている人のほうが多くなり、このことから高校生は憲法第9条の改正に否定的と解釈できる。このようになった理由には、1)のように

憲法があまり身近に感じられなかったり、今の高校生たちは戦争が身近に感じられなかったり、憲法改正の必要性が感じられなかったりすることが関係しているのではないかと考えた。しかし、憲法をあまり身近に感じていない一方で、憲法改正について高い関心を持っており、憲法に関する知識に乏しい可能性がある。

また、世論は憲法第9条の改正に対して肯定的とも否定的ともいえないことが分かった。このようになった要因には、職業上の理由などがあるのではないかと考えた。

以上のことから、高校生の憲法第9条についての考えは世論と比べて憲法第9条改正に否定的であるという特徴があるといえる。

6. おわりに

6.1 結論

現在、政府が憲法第9条を改正しようとする動きがある中で、政府と憲法の間ズレが生じたり、憲法第9条改正のために自衛隊法などの様々な法律が変えられたり、新しく法律が成立したりしている。また、憲法第9条の改正にはメリット・デメリットがある。そして、アンケート等を分析すると、高校生は憲法改正について否定的であるという特徴があることが分かったが、世論は改正に肯定的とも否定的とも言えない。これには、様々な理由があると考えられる。

6.2 今後の課題と展望

本研究から考えられる今後の課題は2つある。

まず1つ目は、本研究では、憲法第9条改正について賛成か反対かということを直接聞いた質問結果のデータを得られなかったため、関連する他の質問の結果から分析

して、高校生が憲法第9条の改正に肯定的か否定的かを判断したが、今後の調査で、可能であれば高校生に対して憲法第9条を改正すべきか否か、などを質問するアンケートから、高校生は憲法第9条改正についてどのような考えを持っているかというデータを集計し、世論と比べ、高校生の考えの特徴を見出したい。

2つ目は、高校生の考えと世論には違いがあることは分かったが、そのような違いが起きる理由がわからなかった。今後調査し、その理由を明らかにしたい。

最後に、私は普段から憲法改正について自分で調べ、考えを持つべきであると考えた。なぜなら、戦争があまり身近ではない我々にとって憲法第9条の改正はあまり関係のない話だと感じられるが、改正されるか否かは我々の未来にとっても大きな影響を及ぼすと考えるからである。

参考文献

[1]朝日新聞社(2022)「改憲『必要』56%、9条『変えない』59% 朝日新聞世論調査」

<https://www.asahi.com/articles/ASQ52549ZQ52UZPS008.html>>2023年2月1日アクセス

[2]岩田高明(2016)「『自衛隊の任務』の改正」

<https://suikoukai-jp.com/suikoukai/wp-content/uploads/2016/05/%E8%87%AA%E8%A1%9B%E9%9A%8A%E3%81%AE%E4%BB%BB%E5%8B%99%E3%81%AE%E6%94%B9%E6%AD%A3%EF%BC%8828.5.14%EF%BC%89.pdf>>2023年2月7日アクセス

[3]加藤雄一郎(2017)「どうなる！憲法9条(NHK政治マガジン)」

<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/feature/4120.html>>2022年7月6日アクセス

[4]共同通信社(2022)「9条改正 賛否が拮抗 改憲機運「高まらず」70%」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1f949626517ae103e76b49c838cc9f1bf9ff52ed>>2022年11月16日アクセス

[5]首相官邸(2020)「『なぜ』、『いま』、平和安全法制か？」

https://www.kantei.go.jp/jp/headline/heiwa_zenzen.html>2022年11月29日アクセス

[6]同志社大学(発行年不明)「自衛隊法」

https://www1.doshisha.ac.jp/~karai/intlaw/docs/ji_eitai-hou.htm>2022年11月26日アクセス

[7]内閣府(2017)「活動を振り返るPK025年」

https://www.cao.go.jp/pko/pko_j/info/other/other_data_pko25th.html>2022年7月6日アクセス

[8]日本財団(2019)「18歳意識調査『第13回 - 憲法 - 』詳細版」

https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/04/wha_pro_eig_57.pdf>2022年11月16日アクセス

[9]読売新聞社(2022)「改憲改正『賛成』60%、『自衛のための軍隊保持』は45%...読売世論調査」

<https://www.yomiuri.co.jp/election/yoron-chosa/20220502-0YT1T50225/>>2022年11月16日アクセス

[10]NHK(2022)「憲法改正”必要”35%”必要ない”19%NHK世論調査」

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220503/k10013608831000.html>>2022年11月16日アクセス

[11]The Huffington Post(2017)「安保法案とは、そもそも何？わかりやすく解説[今さら聞けない]」

https://www.huffingtonpost.jp/2015/07/15/security-law-wakarivasuku_n_7806570.html>2022年7月6日アクセス

安楽死容認国と日本における「安楽死」の捉え方とその差異

～各々の国柄の違いに着目して～

Y. S. <国際②>

1. はじめに

安楽死は場合や方法によって細分化できる。医師による投薬によって死に至る場合は「積極的安楽死」と呼ばれ、医師の薬の処方によって死に至るのは「医師補助自殺」、延命治療を拒否することは「消極的安楽死(尊厳死)」と分類されている。ただ、この分類は国によって違うため、あくまで形式的なものである[1]。

最初、2019年の京都府で起きた「ALS囑託殺人事件」の背景や容疑者の罪に興味を持った。そして、この事件問題点を調べる過程で「安楽死が自分の終末期を決定する一つの選択肢として存在できる社会」を形成するために必要なこととは何なのかという疑問を抱いた。

実際、Twitter上では安楽死の合法化を求める声も散見される。求める人がいるという現実があるのにも関わらず、日本国内での合法化が憚られている。その背景を明らかにし、安楽死容認の条件を考察することが本研究の目的である。

2. 「安楽死」のあり方

2.1 海外での安楽死の現状

海外では現在10カ国以上の国と地域で、安楽死とそれに類するものが認められており、成立条件は主に①「安楽死法の成立」と②「従来の法律の解釈による成立」の2つである[2]。

①に該当する国は現在安楽死を容認している国・地域の殆どが該当し、欧州や北米の一部の州で認められている。直近の事例をあげると、ニュージーランドは2021年11月7日に安楽死法が施行されている。

ただ、安楽死法案が議会を通過した後も維持し続けることは簡単ではない。その例として、法案自体は通ったものの国内の宗教関係で施行されなかった国(ポルトガル)、一度は施行されたものの、その後反対派による裁判により法律が廃止された国や地域(オレゴン州、オーストラリア)などが挙げられる[3]。

また、②に該当する国は現状スイスのみである。

2.1.1 ①「安楽死法の成立」について

国内で安楽死に関する事件が起こったときに、それが社会的な注目を浴びて国内での大きな議論に発展すると、「複数の議員や政界関係者が賛同し法案の提出が行われる場合」と「安楽死や自殺補助に関する裁判が行われた際に裁判所から判断の基準が示される場合」が基本的な成立背景である。前者は前述したニュージーランドが例であり、後者に関してはかつての日本で行われた裁判にも類似する判例(1961年の山内事件等)がある。

2.1.2 ②「従来の法律の解釈による成立」について

スイスの刑法115条には「利己的な理由により、人の自殺の教唆あるいは補助を行ったものは、もしその自殺が実行された場合、5年以下の懲役に処する」との記述がある。この「利己的な理由」という部分の解釈により、利己的な理由でなければ処罰されることがないと考えた人々が自殺補助団体を立ち上げた。それが現在にも続く「EXIT」や「DIGNITAS」といった組織である。近年ではこれらの組織は海外からの自殺補助希望者の受け入

れも促進している。その結果として、「DIGNITAS」による自殺者数は、近年では200人程度となっている。(図1)

「DIGNITAS」を例として、自殺補助団体の活動には自殺補助の前に自殺補助希望者へのカウンセリングをすることも含まれている。間隔をあげ複数回にわたって意思確認をするため、その過程で自殺を取りやめる患者も少なくないということだ。この方法は安楽死法を採用している他の国でも基本的に行われている。一時の感情で自殺するのを防ぐためには必須である。また、その他にも「DIGNITAS」は自殺および自殺未遂防止や死にゆく患者の付き添い、自己決定的な終末期への支援を活動内容としている[4]。

だが、スイス国内に安楽死に関する法は存在しないため、未だ「積極的安楽死」は禁止であるために投薬は当人によって行われる[5]。

2.2 日本の現状

日本国民への世論調査の結果は「賛成」の割合が大きいというデータが有る(図2)。しかし、日本国内では安楽死が未だ認められていない。だが、尊厳死の存在は日本医師会により事実上認められている。また、前述のように日本国内で安楽死やそれに準ずる事柄に関する事件が起きると、一時的にSNSを中心に話題に上がる事がある。事実、前述の事件の後にはTwitter上で「#国は安楽死制度を認めてください」という言葉がトレンド入りした。また、2019年の参議院選挙に出馬した「支持政党なし」という党と同じ人物が代表を務める「安楽死制度を考える会」が存在する[6]。

3. 安楽死制度におけるデメリットについて

ここまで海外と日本における安楽死の現状について述べてきた。海外では安楽死を容認することで起こりうる問題に配慮しながら制度の運用をしている。しかし、安楽死は容認する際のデメリットが『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』で4点指摘されている[7]。

- (1) 安楽死の拡大解釈が犯罪につながりかねない
- (2) 「己の生き方を追求する社会」の形成が不十分
- (3) 「死の自己決定権」が制限される
- (4) 「人の考えは絶えず変化するもの」である

2016年に起きた相模原障害者施設殺傷事件の被告である植松聖は当時、衆議院議長に当たった手紙の中で「私の目標は重複障害者の方が家庭内での生活、及び社会的活動が極めて困難な場合、保護者の同意を得て安楽死できる世界です。重複障害者に対する命のあり方は未だに答えが見つかっていない所だと考えました。障害者は不幸を作ることはできません。」と記した[8]。

(1)について、彼の起こした事件はその残虐性と異常性から日本中で大きな注目を集めたが、この手紙に書かれるような安楽死は極めて危険なものであり、健全者の都合によって利用されてしまうような制度であってはいけない。「安楽死制度」を理由にしてこのような考え方を持った人間が同様の事件を起こすようなことは2度とあってはならない。故に、危険思想を助長しかねないという大きなリスクを持ったものと言える。

(2)はまだ自分が何をして生きたいか、自分の生きがいはいかなにかも見つからない人に対して「安楽死」という選択肢を示してしまうと、たやすく選びかねないということである。つまり、「人の生を支える社会」の形成が不十分」ということであり、簡単な方法を示す前にどれだけ時間がかかっても「生きたい」と一人でも多くの人が思える社会の形成の方を先に取り組むべきである。何よりも先に人間の生の結論に位置する「死」を先に容認してもいいのかという議論が足りていないという考え方が(2)である。

(3)では、「同調圧力による安楽死」の可能性を危惧している。本人はまだ心のどこかで生きたいと思っても、周りのことを考えるとこのまま生きていたら家族や親族に迷惑がかかるから、と安楽死を選択してしまう。このような事例が起きてしまうのは絶対に避けなければいけない。また、この場合は安楽死に限らず他の類似した事柄についても言えるだろう。

(4)は、人間の一過性の感情を慮ったもので、安楽死を容認する上で必ず考慮すべきことである。

4. 考察

このように、日本で安楽死制度の容認をするには多くのメリットが有る一方で多く生じる可能性のある障害について一つ一つ配慮していなければならない。現状の日本社会での安楽死容認は難しいが、この先10年20年と経て安楽死を容認するとなったときに必要な条件として、以下の3点が考察できる。

- ・安楽死専門の機関を国主導で立ち上げその期間が毎年必ずデータの収集と一つ一つの事案に関して適切な安楽死であったかを確認すること
 - ・安楽死の実施前に一定期間以上間隔をあげたカウンセリングを本人とその周囲の家族や親族に行うこと
 - ・義務教育課程での道徳や命に関する授業を重要視し国会に国の安楽死法の運用や道徳教育に関して確認するための委員会を立ち上げ前述の機関に不正防止のために一定期間ごとの立ち入り調査を行うこと
- 道徳教育に関しては、現に義務教育課程での「命の授業」が形骸化している学校があるという話もある。命とは何かの理解が不十分なまま上辺だけの知識を取り入れた結果、事件を起こすようなことがあってはならないため、子どもたちへの「正しい命の教育」は現代社会で最も重要視されるべきことのひとつであると言えよう。

5. おわりに

5.1 これからの社会に向けて

現状の日本では安楽死に肯定的な考え方を持っている人が多いものの、まだまだ反対している人が多いのも事実である。まず安楽死の容認以前に重大な病気を持っているという理由以外で安楽死を望む人に対して、「生を全うしたいと思える社会」の形成が必要だ。しかし、SNSが発達した現代社会では同じような考え方を持った人たちが集まりコミュニティを作るとするのが一般的である。この結果「自殺幫助」と称した殺人事件が時々国内で起こるのだが、国はまずこのような現状を打破する政策を打ち立てることが重要だ。

「ストレス社会」とも言われる今の日本社会では一部の人に安楽死の存在が魅力的に見えているのは仕方ない側面があるが、だからといって手放しで死を選ぶのではなく、この生きにくい社会で一つでも希望を持って生きることができる社会を作っていくことの方が今の日本においては急務だろう。

5.2 今後の課題

海外の例を用いた上での日本での安楽死のあり方を考察が不十分だった。また、日本国内で「安楽死」というものがどのように考えられているのかがうまく考慮できなかった。許容度調査に関しても5年以内のデータが見つからなかったため、今のSNSが完全に普及した世の中で安楽死が客観的に見てどのような立ち位置にあるのか、各国の背景も踏まえながらもっと深彫りするべきであった。

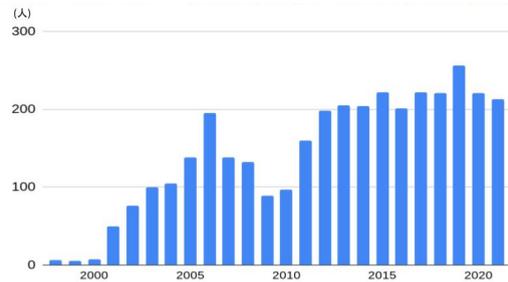


図1: DIGNITASの自殺幫助による自殺者数
〈出典: statista(1998) [9]〉

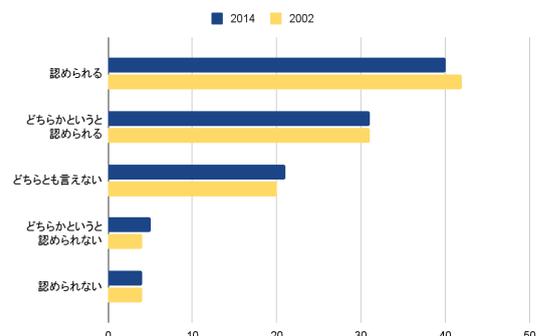


図2: 日本での"安楽死"の許容度
〈出典: NHK放送文化研究所(2014) [10]〉

参考文献

- [1]松田純(2018)『安楽死・尊厳死の現在』中公新書。
- [2]swissinfo.ch(2022)「安楽死が認められている国はどこ?」
<https://onl.bz/GzpfCe9> 2022年11月27日閲覧。
- [3]NNA EUROPE(2021)「ポルトガル大統領、安楽死法案を再び拒否」
<https://onl.bz/Bwbs32y> 2022年11月27日閲覧。
- [4]「DIGNITAS」ウェブサイト
<http://www.dignitas.ch/?lang=en>
2022年11月27日閲覧。
- [5]swissinfo.ch(2017)「憲法改正に伴う国民投票、日本とスイスの違いは?」
<https://onl.bz/laasiUl> 2022年11月27日閲覧。
- [6]安楽死制度を考える会ウェブサイト
<http://honshitsu.org/> 2022年11月27日閲覧。
- [7]安藤泰至(2019)『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』岩波ブックレット。
- [8]The Huffington Post(2016)「障害者470名を抹殺できます」植松聖容疑者、衆院議長に手紙(全文)
<https://onl.bz/ggEsUjR> 2023年1月15日閲覧。
- [9]statista「Annual number of accompanied suicides to Dignitas in Switzerland from 1998 to 2021」
<https://onl.bz/UFZGRdc> 2022年11月27日閲覧。
- [10]NHK放送文化研究所(2014)『日本人は“いのち”をどうとらえているか～NHK「生命倫理に関する意識」調査から～』
<https://onl.bz/B14bACx> 2022年11月27日閲覧。

手話学習の拡大とろうの理解促進に向けた研究 ～動作言語習得と音声言語習得の比較実験とイメージ調査を通して～

N. H. <国際②>

1. はじめに

本研究の目標は「手話学習を広める」ことと「ろうを理解してもらう」ことだ。社会的に不利な状況に置かれている聴覚しょうがい者の権利保障のために手話学習の拡大は重要であろう。しかし、現状、手話が気軽に使えるとは言い難い。また、世間では「手話は聴覚にしょうがいをもつ人たちだけが使う言語」だと誤解している人もいる。本研究ではこの現状を変えるための予備調査として今回の実験とアンケート調査を行った。

実験は、動作言語習得と音声言語習得の比較である。動作言語である手話が音声言語よりも習得しやすいという結果が得られれば、手話学習者の拡大に繋がるのではないだろうか。また手話のイメージや接点についてのアンケートを実施し竹園高校の生徒と教員を対象とした。

そもそも、手話とは手の形・位置・動きをもとに表情も活用する独自の文法をもった、音声言語と対等な言語である。日本においても改正障害者基本法で初めて「言語(手話を含む)」と明記されたことで手話が言語として法的に認知された[1]。主に手話を使用するのは人それぞれではあるが耳の聞こえない人、聞こえにくい人、耳の聞こえない親をもつ子ども[通称：『コーダ』CODA(Children Of Deaf Adults)]などだ。また「ろう」とは耳の聞こえない状態のことを指す。日本には日本語に対応させて使う「日本語対応手話」と手話独自の文法に合わせて使う「日本手話」がある。使用される手話は各国で異なり、日本の中でも方言などで表現がわかれているものがある。

2. 手話の必要性

2.1 私の目指すもの

私は「手話学習を広める」「ろうを理解してもらう」ことを目指している。つまり全員が手話を使えるような社会を形成し、聞こえない人の世界を理解するきっかけにすることを目標としている。理由として「手話は聴覚しょうがいをもつ人のみが使う言語ではない」というイメージを浸透させてバリアフリーにつなげるため、災害時・緊急時に聞こえない人々の被害を最小限にとどめるため、日常の困難な点を理解して助け合うためなどである。

2.2 聴覚しょうがい者の被害例について

2011年3月11日東日本大震災を例にすると、全体の死亡率が0.78%なのに対し、聴覚しょうがい者の死亡率は約2.5倍の1.96%であった。この数字は他のしょうがい(視覚・肢体・知的・精神)をもつ人たちの死亡率の中で最も大きい数字となっている(岩手・宮城・福島)のデータ[2]。一般的に聴覚のしょうがいの有無は見た目から判断するのが難しいことが多くあり、そのことも一因となっていると考えられる。

2.3 災害時・緊急時に聞こえる人ができること

災害現場では避難警報やアナウンスが聞こえず、避難の必要性に気づかないことがあるため、近隣住民等の手助けが必要となる。すなわち日頃の関係が重要である。

避難所では情報が十分に得られないため、掲示板や張り紙といった文字や絵による情報提供がさらに必要にな

る。また、暗い場所では手話や掲示板が見づらくて不安が大きくなるので、ライトなどの視覚情報の使用を心がける習慣が必要である[3]。災害時は、筆談用具を常に持ち歩けるような環境ではないことがほとんどだ。そこで、手話以外の情報保障ツールとして同時翻訳アプリがある。これらのアプリは音声認識と自動翻訳を搭載していて、ダウンロードをしておけば聞こえない人・聞こえにくい人との会話に役立つ。しかし、インターネット環境や、充電や電波が必要という課題がある。また、人混みの中では音声認識にも限界がある。このように緊急時には電子機器が使えない可能性もあるため手話が必要なのである。

3. 仮説と調査方法

3.1 仮説

①動作言語習得と音声言語習得の比較実験

音声言語である口話は、声のみを使って表現されるのに対し、動作言語である手話は自らの体を使って表現される。手話は、体で表現できる具象化された言語なのでダンスの振り付けのように覚えやすいのではないかと考えた。

②手話に対するイメージ調査

近年手話を扱うメディアが増加したことで、手話の認知度は高い傾向にあるのではないかと考えた。

3.2 実験や調査内容

①動作言語習得と音声言語習得の比較実験

手話(動作言語)が覚えやすいという結果が得られれば手話学習の拡大につながると考え、竹園高校の生徒(1学年6名、2学年7名)を対象として以下の実験を行った。動作言語として日本語対応手話4単語、音声言語としてフランス語4単語を使用し、習得できているかどうかを確認して比較した。フランス語を選んだ理由は、普段聞く機会が少ない、かつ高度な発音を伴わないためである。いずれもタブレット端末で視聴してもらい4日後にテストを行った。

②手話に対するイメージ調査

日々の生活での手話への接点やイメージを調査するため、竹園高校の教員と生徒計150名を対象としてアンケート調査を行った。

4. 実験の結果

①動作言語習得と音声言語習得の比較実験

日本語対応手話(動作言語)の正解率は64%(図1左側)であるのに対しフランス語(音声言語)の正解率は81%(図1右側)となり、フランス語(音声言語)習得の方が良い結果となった。

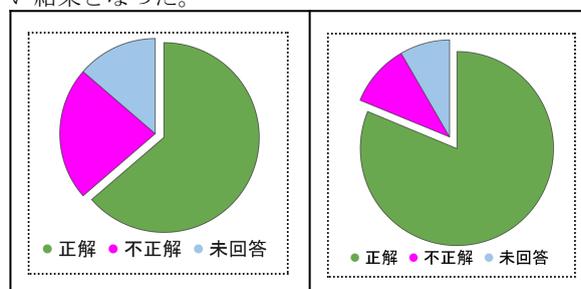


図1. 比較実験の結果（左：手話, 右：フランス語）

②校内の手話に対するイメージ調査（一部抜粋）

手話という言葉の認知度は98%と高確率で知っている人が多く、手話の単語を1つ以上知っている人の割合は78%で想像より多い傾向にあった。

次に、「手話を一番最初になにをもって知ったか」を聞いたところ、最も多い回答が「手話ニュース」で、次いで多くみられたのが「知事会見や国会などの政治関連」であった。教育機関よりもメディアからの情報で手話を知った人が多いようだ。

また手話に対してのイメージとして挙げられた上位3つは「難しそう」「面白そう」「身近に感じられない」であった（選択肢あり、複数・記述回答可）。

さらに、「手話を言語として使える社会ならば日常生活で手話を使用したいか」と、その理由を自由記述形式にした問いには賛否両論がみられた。まず、賛成の立場では「声を出さなくて済む」という記述が最も多く、また、手話や聴覚しょうがいへの興味があり挑戦してみたいと記述した人もいた。反対意見では「声が聞きたい」「視覚情報が全てになってしまう」などの意見がみられた。

5. 考察

①動作言語習得と音声言語習得の比較実験

仮説とは異なる結果になったことについて実験の課題を2点考察した。

{1} フランス語（音声言語）の解答方法において、日本語訳の4つの選択肢から選ぶという形式をとり、新たに文字言語も加えてしまった。そのため、フランス語の音声で回答してもらう方法にするべきであった。

{2} 実験に参加した生徒は全員が普段から音声言語を使用しており、動作言語に不慣れた状態であったため事前によくつか動作言語を練習するべきであった。また、今回の実験の参加者は竹園高校の生徒に限られていたため他の年齢層などでも試してみるべきであった。

②校内の手話に対するイメージ調査

手話の認知度が98%と高確率となったのは仮説通りとなったが、手話を扱うメディアの増加が一因であったかどうかは不明である。また、手話の単語の認知度も同様である。

「手話を一番最初になにをもって知ったか」という問いに対し、ドラマなどのテレビ番組から情報を得ることが多いのではないかと予想したが、テレビ番組の中でもニュースから知った人が多かった。「手話を言語として使える社会ならば、日常生活で手話を使用したいか」という問いにて「声を出さなくて済む」と記述した人が最も多かったことから、音声言語での会話が億劫に感じている人がいるのではないかと考えた。また「視覚情報が全てになってしまう」などの意見から、手話を主要な言語にすることで、学習面で物理的に不平等な環境を生じさせるのではないだろうか。例えば前方に視界を妨げるものがあつた場合、得られる情報が限られてしまう点だ。

また、いくつか手話に対する誤解がみられた。一例として「手話には感情の抑揚がない」という意見があつたが手話は身体全体で表現する言語であり、その1つである表情も多く活用され、感情を動作から感じることができる。その視点で言えば感情の抑揚を伝えることができる。そして「外国人とも話せる」という意見があつたが各国で使用されている手話は異なるので、日本で使われ

ている手話を習得しても海外の方との手話での会話は難しい。

6. おわりに

6.1 手話学習の拡大と将来の社会

手話学習が拡大した後には予想できる将来の社会について以下のように考えた。

{1} 災害時・緊急時において聞こえない人の被害が減少する可能性がある。

{2} SDGs^⑩「人や国の不平等をなくそう」の目標達成につながる。

{3} インクルージョンのきっかけになる。インクルージョンは「性・国籍・民族・障害などからくる差異を歓迎し祝福する」という価値体系に基づき、あらゆるものを包みこむという意味が含まれている[4]。

{4} 手話を主なコミュニケーションツールとすることで飛沫感染が抑えられる可能性がある。

2025年には耳の聞こえないアスリートのためのオリンピックであるデフリンピックが東京で開かれる[5]。もし聞こえない人、聞こえにくい人に話しかけられた時あなたははどうするだろうか。私の目標は「手話学習を広める」とことと「ろうを理解してもらおう」ことである。聞こえない状態・聞こえにくい状態がどんなものか、手話とはどんなものなのか、より多くの人が理解する必要がある。

6.2 今後の課題

動作言語習得と音声言語習得の比較実験においては、改善点に着目して再度挑戦したい。さらに、災害現場において聞こえない方へどのような配慮が行われているのか調査したい。また、海外の論文も視野にいれて手話の使用が飛沫感染防止に関係があるのかも調査したい。本研究の目標である「手話学習を広める」とことと「ろうを理解してもらおう」ことを具体的にいかにして実現するかも検討が必要である。

<謝辞>

研究を進める上でご協力いただきました、筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター講師 小林洋子先生、同総務課広報情報化推進係 長屋美穂子様、茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ様、実験に協力してくださった竹園高校生徒・教員の皆様、同手話サークルの皆様にご礼申し上げます。

<参考文献>

- [1]全日本ろうあ連盟(2018):手話言語に関する見解(2022年9月22日アクセス)
<https://www.ifd.or.jp/2018/06/19/pid17838>
- [2]NHK福祉情報サイトハートネット(2012):東日本大震災時のデータ(岩手・宮城・福島)の障害者の死亡率(2022年9月23日アクセス)
https://www.nhk.or.jp/heart-net/topics/19/data_shiboritsu.html
- [3]長野県(2021):災害時、聴覚障がい者が困ることをお知らせします。(2022年9月23日アクセス)
<https://www.pref.nagano.lg.jp/shogai-shien/20210617.html>
- [4]佐藤正幸(2002):「福祉最前線」『手話通訳問題研究』第82号, p. 20.
<http://home.att.ne.jp/theta/setatsumuri/mame030206inclusion.htm>
- [5]一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会(2022):デフリンピックってなに?(2023年2月15日アクセス)
<https://www.ifd.or.jp/sc/deaflympics/about/>

世界で有名な本を執筆するには ～『ねじまき鳥クロニクル (The wind-up bird chronicle)』を参考に～

R. S. <国際②>

1. はじめに

私は小学5年生の時に本を読む楽しさというものを知った。それから本を読み始め、今でも毎日必ず本を読んでいる。しかし、自分に合った作品というものは極端に少ない。完璧に自分に合った作品を読むには自分で書く以外に方法はない。そのため、今では本を書きたいと思うようになった。それと同時に本を書くときに注意をしなければならない点を知りたいと思った。また、書いた本が人気になって欲しいので世界で有名な本の特徴を知りたいと思った。そこで世界で有名である著書村上春樹の『ねじまき鳥クロニクル』と英訳版『The wind-up bird chronicle』、それらのレビューを参考に世界で有名になる本を書く方法を調べた。また、『ねじまき鳥クロニクル』を参考に使っているため、『ねじまき鳥クロニクル』の内容についての若干のネタバレがある。ネタバレされたくない方は先に本を読むようお願いする。

これらのことを調べることによる社会的意義は、自分と同じように小説を初めて執筆する人が気を付けなければならない点を意識しながら書けることにあり、これによって世の中の小説の出来がさらによくなることにある。

2. 『ねじまき鳥クロニクル』について

2.1 村上春樹とは

村上春樹のベストセラー小説は『ノルウェイの森』という作品で総計1000万部を売るといふ快挙を成し遂げた人物だ。フランツ・カフカ賞をアジア圏で初めて受賞するなどの功績もある。フランツ・カフカ賞とは世界的に有名に権威ある、チェコの文学賞。賞の名前は、地元出身の小説家であるフランツ・カフカに由来。対象となるのは、世界中の現代文学作家。作品に対してではなく、人に対して賞が贈られる。なお、世界的には「ノーベル文学賞の登竜門」というような位置づけとなっている。代表者はフィリップ・ロス(アメリカ)、ハロルド・ピンター、エルフリード・イエリネク[7]。また、彼の本は独特な言葉遣いがあることでも有名で、ファンの間では村上ワールドと呼ばれている。代表作は『羊をめぐる冒険』、『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』がある。

2.2 『ねじまき鳥クロニクル』について

ねじまき鳥クロニクルとは、村上春樹が執筆した長編小説の一つで、全3部作である。選んだ理由10ヶ国語以上に翻訳され、国際的な文学賞である「国際IMPACダブリン文学賞」を日本人で初めて受賞し、本作品は十ヶ国語以上(英語 ロシア語 フランス語 ドイツ語 デンマーク語 ギリシャ語 アラビア語 ポルトガル語 ブルガリア語 など[5])に翻訳されているため、世界的に有名な作品であると考えられる。

2.3 あらすじ

失業保険で主夫生活を送る僕(岡田亨/オカダトオル)と妻のクミコ(岡田久美子/旧姓は綿谷)は、平穏な生活からふいと猫がいなくなり一週間が経つ。そしてある日、突然、妻が失踪する。(略) 失踪には実兄の

綿谷ノボルが深くかかわり、その鍵を握っているようだ。略 異界との交信場所として<井戸>がある。現在と過去が往還し、ノモンハン事件を中心とする日本と満州、蒙古とソ連の国境戦争と繋がり、その時代の記憶とも交差していく。閉ざされた空地にぼつんと佇むく涸れた井戸>が象徴的で、この<井戸の底>で沈思し、<壁抜け>で現実と異界を行き来し、失踪した妻のクミコの謎を解きながら探し出していく[6]。

2.4 特徴

『ねじまき鳥クロニクル』では特に綿谷家に対して助言をする本田さんの口から語られるノモンハン事件を中心とする日本と満州間の戦争描写が濃密に書かれており、amazonレビューの中ではその描写がグロテスクすぎで読む気をなくした、という方もいる。

また、村上春樹は世界の表側である現実、世界の裏側である井戸の下の二面性から真実を追求するというテーマがある。

3. 仮説と研究方法

3.1 仮説

日本や海外で読まれるような作品の構成には共通点があり、その共通点が評価されているのではないだろうか。

また、相違点の方は日本国内、海外で人気になるために必要な点であると考えられる。

3.2 研究方法

インターネット上で本を販売するサイト(amazon, goodread)の『ねじまき鳥クロニクル』に対してのレビューや本についてのブログから情報を集める。

3.3 研究で使用するサイトについて

研究で使用するサイトは上記のように「amazon」と「goodread」である。「amazon」大規模な通販サイトで、第一部のみ、第二部のみ、第三部のみ、三部作セットの購入サイトが有る[1][2][3]。これらのサイトのレビューは基本日本語で、英語版の『The wind-up bird chronicle』でも日本語のレビューがほとんどである。

「goodread」は本のみを販売するサイトで、多くの本が販売されている。このサイトでは英語やロシア語、アラビア語などに翻訳された本を購入することが出来る。外国語のレビューの数はこちらのほうが大きく優れており、英語のみでのレビューの数は15,000を超えていて、他言語も200件以上ある。

4. 整理・分析

4.1 日本のレビュー

- amazonより抜粋した日本語のレビュー[1][2][3][4]
- ①どんよりねっとりした重々しさ、迫力と厚みのある不思議な作品自分なりの表現
 - ②残酷なエピソード(省略)読者をひっぱりこむ
 - ③物理的な暴力」に関するストーリーと、主人公が闘う「霊的な暴力」に関するストーリー
 - ④バットで殴るといふ直接的かつ矮小な暴力的手段がとられる

⑤読み手を引きつけて放さない作者の想像力と筆力がストーリー構築の不自然さ（中略）を忘れさせ、むしろ不思議な自由感、自在感を醸しだしていく

4.2 海外のレビュー

goodreadより抜粋した翻訳済みの英語のレビュー[5]

- (1) 繊細さ、感情的な深さ、そして人間の心の複雑さに対する鋭敏な理解
- (2) 孤独と人間の悲惨さについて、最も魅力的で、最も頭脳的でありながら思いやりのある
- (3) 人間が互いに与え合う残酷さ
- (4) 物理的現実と形而上学的現実の間の境界線を曖昧に
- (5) 人間社会への理解が深まった
- (6) 現実逃避、抽象的なアイデア、孤立感は深遠
- (7) 孤独、混乱、そして人生を変える出来事の説明と答えを見つけようとする
- (8) 超自然的な暗闇を呼び起こしました

4.3 共通点

日本と海外のレビューにおける共通点として、

②③④(1)(2)(3)(6)(7)から残酷なエピソードが魅力的であり、本の世界に引き込まれることがあげられる。また、感情への評価が多かった。

しかし、内容は少し異なっており、日本の場合は暴力的なものの描写や戦争描写に対してのレビューが多かった一方、海外では孤独感や現実逃避といった負の感情へのコメントが多かった。

4.4 相違点

上記の情報①⑤から日本特有の情報として暴力や重圧感が感じられ、作者の想像力が豊かであり、不思議な魅力が感じられることがあげられる。

(4)(5)(8)から海外特有の情報としては現実と空想の世界の境界線が感じられ、また哲学的で人間社会への理解促進に役立つと述べている。

5. 考察

仮説では共通点を持つ部分が国内世界ともに人気の部分であると考えられるとあり、結論から考えると正しいことであると考えられる。共通点のレビューから推察出来ることとして、世界的に有名な本を書く際に必要なのは残酷な現実と暗い感情を描写することがあげられる。

一方、相違点からわかることとして日本で有名になる作品を作るには戦争描写があること。現実的になまなましく書くことが大事。海外で有名になる作品を書くには現実から遠く離れた空想の物語であること。

そして全体のレビューから推察出来ることとして小説を執筆する際に注意すべき点は、現実の話を書くとき身近なことを拡大することである。空想の話を書く場合は豊かな想像力が必須だ。ただし、豊かな想像力があっても飽きさせないような文を作る努力が必要だ。『ねじまき鳥クロニクル』の場合は井戸が現実で拡大していく対象で、現実のものから空想の世界へと話を広げていく。

しかし、研究対象が一冊のみのため、他の本との比較ができないのでこれが事実なのかは疑問が残る。

6. おわりに

6.1 結論

以上のことから本を書く際に注意すべき点として現実の話を書く場合は身近なものを着目すること、空想の世界を書く場合は豊かな想像力が必要である。この2つを掛け合わせると身近なものに着目し、誰も知らない空

想世界へと物語を引っ張っていくこととなり、人気な作品となる。

また、それと同時に日本で有名な作品を書く場合は戦争描写、海外で有名な作品を書く場合には空想の話を書くことだ。日本と海外どちらにも人気な作品を書く場合には、残酷な描写と暗い感情を加えるとなお良い。

6.2 今後の課題

今回日本側、海外側のレビューとして取り上げたものは、すべてのレビューの中から私個人が多かったと考えた感想を拾い上げたため、客観性に欠けている。もう一人、確認作業をする人がいれば少しは客観性が出た。

また、研究対象として選んだ本が『ねじまき鳥クロニクル』一冊のみというのもその要因の一つだ。さらにインターネット上にレビューをあげる人は本を読んだ人全体の中でも一部であるということだ。そのレビューでさえも英語のみでレビューが15,000件以上あるため、そのすべてを確認できたわけではないのも客観性に欠けている。

6.3 さらに考えたい問

今回は『ねじまき鳥クロニクル』のことについて日本と海外という区分で分けたが、その点についてさらに区分けしていきたい。例えば、海外についての区分を英語、ロシア語、アラビア語などさらに言語ごとに区分けしていくことがあげられる。

また、今回は自分の書きたい物が小説ということで小説という分野での研究だったが、他にも漫画や雑誌という分野でも同様な研究ができる。

ジャンルごとに分けるというのものもある。推理や恋愛、フィクションやノンフィクション、コメディなどそれぞれにあった特色があるのではないだろうか。他にも研究する本を日本から世界で有名になった本ではなく、海外から日本で有名になった本でも研究できる。上記のような要素の組み合わせ次第で研究出来る範囲は広大である。

参考文献

- [1]amazon 『ねじまき鳥クロニクル』
<https://onl.1a/A3SdUw1>
- [2]<https://onl.bz/3EEZGyz>
- [3]<https://onl.bz/QKUCnChC>
- [4]<https://onl.bz/ZHGpErs> レビュー（最終アクセス日 2022/11/28）
- [5]goodread 『ねじまき鳥クロニクル』
<https://onl.bz/PXT4HUH> レビュー（最終アクセス日 2022/11/28）
- [6]猫じゃらし文芸部村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』あらすじ | 時空を超えた、邪悪との闘い。（最終アクセス日2023/02/15）
<https://onl.1a/yjj5CNt>
- [7]読書のカ フランツ・カフカ賞
<https://onl.1a/rqvFz2Q>（最終アクセス日2023/02/15）
- [8]感想・解説『ねじまき鳥クロニクル：村上春樹』少し異なる主人公像
<https://onl.1a/gGpQ4hU>（最終アクセス日2023/02/15）
画像:ねじまき鳥クロニクル 1部2部3部 表紙 [8]